

1/7 Hirado City Photo News
今年もさらなる飛躍を



平戸文化センターで「令和2年新年祝賀交歓会」【平戸市・平戸商工会議所(早田悠次会頭)共催】が開催され、観光商工業、農林水産業、建設業関連の事業者や市民など約340人が出席しました。

まず、黒田市長が「平戸は日本の端だが、全国から注目を浴び選ばれ続ける自治体でありたい」とあいさつ。鏡開きの後、西川克己県議会副議長の発声で乾杯が行われ、参加者の皆さんは、新年のあいさつを交わし、今年の抱負を語り合いながら平戸のさらなる飛躍を誓いました。

1/1 Hirado City Photo News
新春の生月路を駆け抜ける



毎年恒例の「第64回生月島縦断駅伝」が開催されました。生月支所をスタート・ゴールとする、6区間22.7kmのコースで行われ、16チームが健脚を競いました。

この日は、時折身を切るような冷たい風が吹く中、ランナーたちはピストルの合図とともに一斉にスタート。タスキをつなぐために、懸命に走りました。沿道には元旦にも関わらず、応援しようと多くの皆さんが集まり、ランナーが通るたびに大きな声援を送っていました。

1/5 Hirado City Photo News
防火・防災に対する意識を新たに



平戸文化センターにおいて「令和2年平戸市消防出初式」が開催されました。

市内各地の分団や婦人防火クラブや消防署員による分列行進の後、大ホールで退職消防団員報償による表彰や防火水槽用地提供者による感謝状授与、来賓祝辞などが行われました。

式典終了後には、屋外に移動し、各分団の車両による商店街をパレード、分団員の服装点検などが行われ、最後に平戸瀬戸に向かって一斉放水演習が実施され、防火・防災に対する意識を新たにしました。



1/12 Hirado City Photo News
思いが詰まったタスキをゴールまでつなぐ



宮の浦バス停をスタートし、平戸文化センターをゴールとする7区間42kmで競う「第50回平戸縦断駅伝」が開催されました。今年、一般(市内)の部4チーム、一般(フリー)の部19チーム、高校の部6チームが出場。高校の部では大会新記録が出るなど、白熱したレースが繰り広げられました。優勝チームは下記のとおりです。

- 【一般(市内)の部】平戸消防A
- 【一般(フリー)の部】九大・九大OB・福女大連合A
- 【高校の部】松浦高校

12/25
プロ野球選手が直接指導



平戸文化センターおよび赤坂野球場で「第10回プロ野球長崎県人会スマイル少年野球教室」が開催されました。

このイベントは長崎県のジュニアスポーツ育成を目的として毎年行われ、プロ野球選手を目指す子どもたちに、長崎県出身のプロ野球選手が直接指導します。この日は、県内外から集まった小学生約150人の子どもたちと平戸文化センターで一緒に昼食をとりながら交流し、その後赤坂野球場に移動して野球教室が行われました。

12/25
比良戸FCが健闘を誓う



「第5回キャプテン翼CUPかつしか2020」への出場にあたり、比良戸FCの選手たちが市役所を訪れ、市長に大会での健闘を誓いました。

この大会は、漫画「キャプテン翼」のゆかりの地などから全24チームが参加し、1月11日と12日に東京都葛飾区で開催されました。

市内の小学校から選抜された16人のメンバーで大会に挑み、残念ながら、予選リーグでの上位進出はなりませんでしたが、順位トーナメントでは2勝するなど健闘しました。